

Monthly Report

Vol.42 広報室

平成21年11月27日発行

目次:

| | |
|----------------------|----|
| 130周年記念式典 | 1 |
| 大学祭 自転車リョウキョウ | 3 |
| 商標登録 エコキャップ | 4 |
| 国際交流 | 5 |
| 地域交流 | 6 |
| 日経グローバル地域 貢献ランキング | 8 |
| 小学校からの御礼状 | 9 |
| 学生の活躍 | 10 |

(学)朴沢学園130周年記念講演会・記念祝賀会



明治12年に松操私塾として開設した本学園は今年で創立130周年を迎えたことを記念し、11月18日(水)に江陽グランドホテル(仙台市内)において学校法人朴沢学園130周年記念講演会・記念祝賀会が挙行されました。

約300人もの方に出席いただく中、記念祝賀会では、前仙台市博物館長の佐藤憲一氏が調査資料を基に「朴沢氏の歴史」と題してご講演頂き、祝賀会では宮城県副知事の三浦秀一氏や、仙台市長の奥山恵美子氏にご臨席頂き、ご祝辞を頂戴しました。本学旧教職員もお祝いのため遠方から多数出席いただきました。

また、資料展示では裁縫技術を教授するための女子教育機関として開設した松操私塾開設(明治12年)から現在に至る貴重な資料が数多く展示され、客員教授の伊達宗弘先生が収集された松操私塾の開設時の「朴沢三代治裁縫私塾開業願」をはじめとする貴重な資料は、伝統を後世に受け継ぐものとして価値ある蔵書となり、国立国会図書館や宮城県立図書館などにも寄贈されました。

次頁で写真をご覧ください

学生の活躍や、取り組みをご存知でしたら広報室までお寄せください。Monthly Reportで紹介する他、報道機関にも旬な話題を提供していきたいと考えております。

また、本誌へのご意見・ご質問等がございましたら、広報室までご一報ください。

広報室

直通 0224-55-1802

内線 佐藤美保 256

土生佐多 200

伊東宏之 271

Email:kouhou@scn.ac.jp

記念講演



記念祝賀会



資料展示室



「2009仙台大学大学祭・スポーツフェスティバルin柴田」 今年も大盛況のうちに閉幕

10月31、11月1日に柴田町と共同で「2009仙台大学大学祭・スポーツフェスティバルin柴田」を開催し、延べ6000名の方にご来場いただきました。楽天野球団初代監督の田尾安志氏によるスポーツ講演会や人気アーティストによるライブ、スポーツイベントでは障害者サポートサークルによる「障害スポーツ交流会」や「ニュースポーツ交流会」、グランドゴルフ大会、ビニールバレー大会など、「スポーツフォアオール」をモットーとする本学らしく、誰もが楽しめる内容盛りだくさんでした。



自転車ナショナルチームが本学で強化合宿



10月26 - 30日の日程で日本自転車競技連盟ナショナルチームの強化合宿が本学の常圧低酸素室を使用して行なわれました。内丸講師がナショナルチームの医・科学スタッフを務めていることから実現したもので、今回は第1回ということで標高2500m相当の15.4%の低酸素状態に選手の体を慣らすことを大きな目的に、短期間での実施となりました。日中は仙台大学近隣で200kmほどのロードを行い、睡眠を含む練習以外の時間を低酸素室で過ごしました。低酸素状態で生活する事で、体内に酸素を運ぶ赤血球、ヘモグロビンを増やすための造血作用や、運動中に出てくる乳酸に対抗する能力向上が期待されています。

合宿の様子は新聞3紙で紹介されました。

本学初の商標登録～貯骨(ちよこつ)っとトレーニング～

本学園は「貯骨(ちよこつ)っとトレーニング」を平成21年10月23日付けで商標登録致しました。考案者は内丸講師で、知的財産権の所有者は朴沢学園です。商標登録番号は【第5275504号】です。

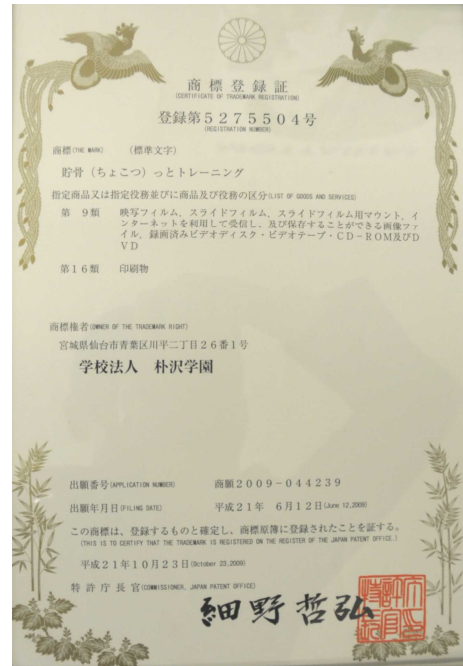
なお、商品及び役務の区分並びに指定商品又は指定役務区分は以下の通りとなっております。

第9類

映写フィルム，スライドフィルム，スライドフィルム用マウント，インターネットを利用して受信し、及び保存することができる画像ファイル，録画済みビデオディスク・ビデオテープ・CD-ROM及びDVD

第16類

印刷物



ペットボトルキャップ送付について

11月11日にNPO法人エコキャップ推進協会に対して第5回目のエコキャップ送付を行いました。今回送ったのは9600個で、これまでの送付総数は30400個となりました。この数は239.4kgの二酸化炭素の発生を抑制し、途上国の子供38人にポリオワクチン、結核のBCGワクチンなら108人に摂取させることができる量にあたります。

これからも皆さまのご協力をお願い致します。



NPO法人エコキャップ推進協会は、ペットボトルのキャップ収集事業を行い、キャップをゴミとして焼却処分するのではなく再資源化を促進することで、焼却処分に伴うCO2の発生を抑制し「地球環境を改善する」ことや、キャップの再資源化で得た売却益をもって「世界の子どもたちにワクチンを寄贈し救済する」ことを目的とした活動を行っています。

学生が集うKMC Hの自動販売機前に設置した「協力ボックス」に集まったペットボトルキャップ1600個を協会へ送付したことをきっかけに、学内でもこの活動に賛同し事務局が中心となって「地球温暖化防止プロジェクトチーム」を結成し、協力活動を推し進めています。

11月11日には、NPO法人エコキャップ推進協会に5回目となる送付を行いました。エコキャップ推進協会HP (<http://ecocap007.com/>)でも、活動内容や送付実績が確認できますのでご覧ください。

| | 個数 | 発送日 |
|-----|--------|-------------|
| 第1回 | 1,600個 | 平成21年 5月 8日 |
| 第2回 | 9,600個 | 平成21年 7月 3日 |
| 第3回 | 4,800個 | 平成21年 7月17日 |
| 第4回 | 4,800個 | 平成21年 8月25日 |
| 第5回 | 9,600個 | 平成21年11月11日 |

(社)中央青少年団体連絡協議会主催2009東アジア生命平和運動未来指導者養成プログラム



(社)中央青少年団体連絡協議会主催プログラムにより、相原絵里子さん(体育学科4年)が元早稲田大学総長西原春夫先生を含む日本団の一員として、11月13日～16日の日程で韓国に派遣されました。

このプログラムは、国際フォーラムなどを通じて東アジアにおける日中韓の役割を協議し世界平和のため日本、韓国、中国の次代を担う20代から30代までの学生や社会人らが互いに連携し、親睦を図ることを目的に開催されています。

この交流プログラム中には、英語での討論会が行われるため、語学力が必要ですが相原さんは、『放送大学』での英語中級Bの受講を機に、「もっと英語を話したい」と強く感じ、林怡夔講師の研究室に通い勉強を続けてきました。3年生の春季休業には、ニュージーランドに単身短期留学。今年の5月にはホームステイ先としてカーン二応用科学大学からの短期留学生を自宅に受け入れたり、東北大学の中国人留学生も受け入れたりと、積極的に異文化交流し、日々語学力を磨いてきました。今回、ウォーキング同好会の佐伯教授の推薦で訪問団にエントリー、派遣されることができました。相原さんは「折角の機会なので日本の

良さを伝えながら、各国の方々と交流をします。」と期待を旨に訪韓しました。

相原絵里子さん(体育学科4年)



今回の目的は、日中韓の同世代の青年たちが、世界平和を懇願し、日中韓それぞれが果たすべき役割を模索し認識することでした。実際にプログラムに参加し、話し合いをする中で「理解だけで終わらず行動に移していこう」という意見が多く、各国それぞれに平和を真剣に考えていることを実感しました。

来年は、横浜市に小学校教諭として正式採用が決まっています。今回の経験を通じて国際交流の大切さを話していきたいです。母国語に違いはあっても「英語」で話すことで喜びや経験を伝えられること。そして、自分のモットーとする「チャレンジ」し続けることを伝えていこうと思います。

学生支援センターのボランティア登録から、白石市の小学校へ支援や小学校での教育実習を通じて子供たちの成長を肌で感じ、一日中子供と接する小学校教諭になりたいと心が固まった相原さん。大学の後輩たちには、「仙台大学の教育資源を有効に吸収することを勧めたいし、学校現場での経験は強み」と話してくれました。

吉林体育学院宋学長来訪



11月12～16日の日程で本学と国際交流協定を締結している吉林体育学院の宋継新学長をはじめとする3名が来日しました。

12日には大学院の記念講義「中国における体育・スポーツの現状と『競技体育学』」が行われ、大学院はじめ学部生、教職員約80名が参加して聴講しました。同日にはホテル原田において歓迎会が開催され、同学院からの留学生も混じって交流を深めました。13日には国際交流大学間会議、施設見学などが行われました。



フリスポ2009に本学も参加

10月24、25日に宮城県スポーツ振興財団が主催するフリーマーケットとスポーツの祭典「フリスポ2009」が宮城県総合運動公園（グランディー21）で開催されました。

同財団からの要請により本学でも、事業戦略室が中心となってブースを設け、健康福祉学科[体の健康度チェック]、YOSAKOIソーラン部JANBARI、漕艇部、B・L・S部、アームレスリング部も参加し、本学のPRを行ないました。



仙台大学ブース



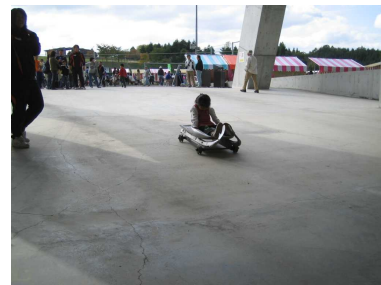
健康福祉学科



漕艇部



アームレスリング部



B・L・S部



JANBARI!

第7回杜の都の地域福祉セミナー(主催:市社協)



写真提供/事業戦略室小室室長

地域住民や様々な団体が、地域活動の中でどのように連携していくかを考える「第7回杜の都の地域福祉セミナー」(主催:仙台市社会福祉協議会)が11月14日(土)に仙台市福祉プラザで開催されました。本学は「自治体との連携に基づく福祉支援活動」というタイトルでパネル展示を行い、乗松准教授が対応されました。興味・関心をもたれる方は非常に多く、持参した資料は全てなくなったとの事です。

生きがい健康づくり県南地区柴田大会(主催:県社協)



11月14日(土)に槻木生涯学習センターにおいていきいき学園OBを対象に「平成21年度生きがい健康づくり県南地区柴田大会」(主催:宮城県社会福祉協議会)が、開催されました。

講師として大学から4名が参加し、橋本学科長による講演「高齢者の健康づくり」や、近藤新助手、岩垂新助手、星昭伍さん(健康福祉学科3年)による簡易健康体操を提供しました。

みやぎ大菊花展柴田大会に仙台大学学長賞がお目見え



台大学学長賞が設けられ、仙石平司さんの作品「国花由季」が受賞されました。



柴田町の秋の風物詩、「みやぎ大菊花展柴田大会」(実行委主催)が10月20日~11月10日まで船岡城址公園(同町船岡)で行われました。会場には県内6市4町、12団体の菊愛好家グループが丹精込めて育て上げた見事な大菊三本仕立て、千輪作り、大懸崖(だいけんかい)、小菊、福助など色とりどりの菊約2400鉢が展示されており、菊花一色、来場者の目を楽しませました。

菊花展は従来、町観光協会が主催してきた「しばた菊人形まつり」が財政難などを理由に06年で中止。以来、地元菊愛好家団体などが中心となって「伝統ある菊花展継続を」と、町内約110にのぼる企業や各種団体と協力し、町の助成金と協賛金による「官民協働」で運営を復活、装いを新たに3年目となります。今年は初めて仙

11月27日(金)には各賞の表彰式がしばたの郷土館で行われ、学長代理として佐藤宏副学長が仙石さんに仙台大学学長賞を授与しました。

仙石平司さん

退職してから趣味を持とうと6年前に菊づくりをはじめました。美しい菊をつくるには子供を育てるように手間隙を惜しまないことが欠かせませんし、審査日に最高の状態になるように育てていく事も難しい点でもあり、奥が深く楽しい点でもあります。賞を頂くのは今回が初めてで、とても嬉しく感謝しています。今回がマグレと言われないようにこれからも菊づくりを頑張っていきたいと思います。

学都コンソーシアムサテライトキャンパス「仙台大学公開講座」開講



本学は昨年に引き続き、今年も平成21年度学都コンソーシアムサテライトキャンパス仙台大学公開講座「スポーツを科学的にサポートする方法」を4回にわたり、2講座開講します。高橋陽介新助手が講師を務める講座「アスレチックトレーナーからの提案～スポーツにおける下肢部障害の予防学～」は、11月14、21日に修了し、約20名の受講がありました。受講者は部活動を教える中・高の教員やスポーツに携わっている指導者などがほとんどで、トレーナーを目指す本学学生も受講しました。

12月5、12日には加賀洋平新助手による講座「S&Cコーチからの提案～成功する体づくり～」を開催予定で、すでに20名程の申込みがあります。若干空きがありますので、興味をもたれている教職員の皆さまや、周囲で興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら是非お声掛け頂き、受講下さい。（申込は12/5開講分...11/30〆切、12/12開講分...12/7〆切）

また、文部科学省の戦略的大学連携支援事業「仙台圏所在大学等の連携を強化・拡充する事による相互的及び総合的発展」主催で行われる「講座仙台学2009～仙台のスポーツ～」では12月26日（土）に中房教授が「仙台市：スポーツの史跡を訪ねる」と題して講義を行います。こちらも12月19日まで受講申し込み受け付けしていますので是非ご参加ください。（申込み先：広報室）

今年も「仙台大学シニアカレッジ」が開講



写真提供/事業戦略室 菊地担当課長

11月7日（土）に、平成21年度仙台大学シニアカレッジ「シニア地域指導者養成講座」開講式を受講生と関係教職員が出席する中、F棟101教室で執り行いました。今回も「地域スポーツ指導者コース」と「介護予防指導者コース」の2講座を開講し、延べ18名が受講しています。今回は、昨年の受講者アンケートの回答に多かった、「土・日曜日の方が出席しやすい」との声を反映して土曜日の開講とし、これまで全13講座を1日1講座開催だったものを、1日2講座開催にして日数を短縮し、受講生が学びやすいように配慮しています。

日経グローバルの地域貢献度ランキング

～総合44位、私立大学では328大学のうち12位に～

表2-1 総合ランキング（22位～103位）

| 総合順位 | 前回順位 | 前々回順位 | 大学名 | 国公立 | 本部所在地 | 総合得点 |
|------|------|-------|----------|-----|---------|------|
| 41 | 32 | 23 | 山形大学 | 国立 | 山形市 | 64 |
| 41 | 66 | 115 | 滋賀県立大学 | 公立 | 滋賀県彦根市 | 64 |
| 41 | 29 | 19 | 東北福祉大学 | 私立 | 仙台市 | 64 |
| 44 | 45 | 73 | 福井大学 | 国立 | 福井市 | 63 |
| 44 | 98 | 154 | 岐阜大学 | 国立 | 岐阜市 | 63 |
| 44 | | | 仙台大学 | 私立 | 宮城県柴田町 | 63 |
| 47 | 24 | 19 | 鳥取大学 | 国立 | 鳥取市 | 62 |
| 47 | 32 | 73 | 山口大学 | 国立 | 山口市 | 62 |
| 47 | 121 | | 宮城大学 | 公立 | 宮城県大和町 | 62 |
| 47 | 63 | 90 | 秋田県立大学 | 公立 | 秋田市 | 62 |
| 47 | 106 | 179 | 石川県立看護大学 | 公立 | 石川県かほく市 | 62 |

日本経済新聞社産業地域研究所「日経グローバル」グループが本年9月に行った「大学・大学院大学の地域貢献度ランキング」調査に回答したところ、調査結果が「日経グローバル136号」（11月16日発行）に特集記事として掲載され、回答した全国の国公立私立大学・大学院大学の計740校の中で、本学は総合44位、私立大学だけでは328大学のうち12位と、いずれも上位にランキングされました。

「スポーツマネジメント実習」・「生涯スポーツ指導実習」で泉岳少年自然の家で活動した学生と担当教員の馬場先生に対して仙台市立東長町小学校の阿部誠一校長より御礼状が届いております。

仙台大学

馬場 宏輝 様

前略

突然の手紙、お許しください。

私、仙台市立東長町小学校の阿部と申します。実は、当校5年児童が9月10・11・12日の3日間、泉岳少年自然の家での野外活動の折、同施設で実習に入っておりまして貴大学の五名の女子学生に献身的なお世話をいただきました。

特に登山では、体力的に劣る児童に温かい言葉をかけていただき、児童もずいぶんと勇気づけられたことと思います。お陰様で、全員の児童が無事に登頂することができました。

つきましては、先生にはご迷惑をおかけすることと思っておりますが、同封の写真を学生さんにお渡しいただけますようお願い申し上げます。

はなはだ勝手なお願いで恐縮ですが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

平成21年11月12日

仙台市立東長町小学校

校長 阿部 誠一



東長町小学校5年野外活動記念「泉岳山頂」2009.10.10-12 photo by senman

学生

糟谷奈美さん(健康福祉学科4年)

飯田夏美さん(運動栄養学科3年)

岡本知夏さん(運動栄養学科3年)

鈴木明代さん(運動栄養学科2年)

横山奈々さん(運動栄養学科2年)

「第3回スポーツを考える会」開催



スポーツ情報マスメディア研究所は毎月20日(金)、仙台市青葉区のおでん三吉で「第3回仙台スポーツを考える会」を開催いたしました。朴澤学

長をはじめ東北経済産業局員や宮城県サッカー協会会長、新聞・放送関係者や市民スポーツクラブ、スポーツ団体幹部・東北大教授などスポーツに関心を持つ方々約30人に参加いただきました。論客ぞろいで大いに盛り上がり、「今年は楽天とベガルタにいい夢を見せてもらった。来期が楽しみ」や「地域スポーツの発展に欠かせないリーダーの育成が立ち遅れている」といった発言のほか「芝の上手な栽培法」まで飛び出し、談論風発。それぞれのスポーツへの思いを“交換”し合い、近日中の再会を期して閉会いたしました。今後も、当研究所はいろいろな企画を展開して人と人との交流を深める予定であります。皆様にはこれまで通りのご理解とご協力をお願い申し上げます。

<スポーツ情報マスメディア研究所>

第63回全日本体操競技団体・種目別選手権大会



11月20日～22日に代々木第一体育館（東京）で開催された「第63回全日本体操競技団体・種目別選手権大会」において亀山耕平さん（体育学科3年）がオリンピック選手らを抑えてあん馬（得点15.95点）で本学初となる種目別優勝を果たしました。

この大会は、団体総合と種目別の日本一を決める国内最大の大会で、本学からは団体総合に6名、種目別に3名が出場しました。団体戦ではインフルエンザの影響もあり、10位に終わりました。

なお、団体戦で優勝したKONAMIチームの半数は本学卒業生（関口栄一選手、上田和也選手、植松鉦治選手）で構成されており、最終種目：鉄棒の演技では、上記の3名がエントリーし、最終演技者の植松選手が着地をピタリと決める完璧な演技をして優勝を決めました。ロンドン五輪に向けて卒業生の更なる飛躍にも期待が持てます。

講道館杯柔道 田中美衣が63kg級準優勝



11月14日（土）に開催された講道館杯柔道体重量別選手権において、田中美衣（体育学科4年）が女子63kg級で準優勝しました。決勝戦は、これまで4度の対戦経験がある（2勝2敗）平井希選手（自衛隊体育学校）で、延長戦の末での惜敗でした。

田中の他にも女子部員7名が出場しましたが、あいにく結果は残せず、次回でのリベンジを応援しましょう。

男子バレーボール部が26季、13年ぶりのリーグ優勝



10月24、25日に「東北バレーボール大学男子1部秋季リーグ戦」の最終戦が行われ、本学男子バレーボール部は福島大学を3 - 2、東北学院大学を3 - 1で降して26季、13年ぶりのリーグ優勝を果たしました。

今年の男子バレーボール部は春季リーグ最終戦を惜敗して2位で終わりましたが、夏休みで強化

に取り組み、9月に行なわれた天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権東北ブロックを制して全国大会の切符を掴むなどチーム力をあげてきました。石丸監督も「これまでのリーグ戦では、最終週に勝てず、悔しい思いをしてきましたが、4年生を中心に学生たちが、人間的に強く成長してくれたと実感しています。やっと念願の優勝を勝ち取ることが出来ました。ひとえに、これまで男子バレーボール部を温かく見守り、支えていただいた全ての皆様のおかげです。この成績に満足することなく、さらに精進していきたいと思っています。」と話しています。

次の目標、『インカレベスト8以上』を目指し、男子バレー部の活躍に期待です。

男子バレーボール部は11月4日に学長室を訪れ、朴澤学長に秋季リーグ優勝とその翌週に行われた大学東北地区体育大会優勝の報告を行いました。

アメリカンフットボール部 初の全国大会への挑戦



11月15日(日)に駒沢陸上競技場においてアメリカンフットボールの全日本大学選手権が開幕しました。今大会から地方にも全国大会の門戸が開かれたということで、注目度が非常に高く、複数の新聞社が取材に入り、大々的に報道されました。東北大学リーグを13年ぶりに制した本学アメリカンフット

ボール部は、東北地区代表として強豪が集う関東リーグを制した早稲田大学と対戦し戦いには敗れましたが、タッチダウンを決めるなど、伝統校に一矢報いました。大会にはOBをはじめ、東北大学リーグの東北大学や岩手大学の選手が応援に駆けつけ、声援で選手を後押ししてくれたそうです。今大会で高レベルの戦いを経験できたことは、これからのチームづくりの大きな材料になったことでしょう。

アメリカンフットボール部のHPにはファンの方が早稲田大学戦を撮影した72枚の写真が掲出してあります。試合の様子が伝わってくる素晴らしい写真ばかりですのでどうぞご覧下さい。

<http://dreamfighter.jp/gallery/sendai/>

主将：新藤政幸さん(健康福祉学科4年)

自分達にとって初めて立つ全国の舞台ということで、前半は浮き足立ってしまい、ゲームをコントロールする事ができませんでした。後半からは平常心を取り戻し、タッチダウンを奪う事ができたことはチームの大きな自信となりました。

早稲田大学はタックル・反応・スピードともに素晴らしく、チーム力の高さを感じましたが、我がチームはケガ人も出ず、体の強さでは負けていなかったと思います。日頃の練習の成果を感じることができたとともに、試合前はチーム力の差が大きいと決め付けていました

4年生は今大会で引退するので、後輩達には全国大会に出場した事に満足せず、学生トップチームとの対戦から学んで高いレベルで戦ってほしいです。間もなく入るシーズンオフでは、部員達で今シーズンを反省する機会をつくって勉強し、全国大会で勝つ事を目標にして頑張ってください。

最後に、応援していただいたOB・OG、大学関係者、東北大学リーグの選手、大会関係者の方々に厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

日台軟式野球親善国際大会の日本代表に及川善史さん(体育学科3年)が選出



12月9-15日に台湾台北市で行われる第5回日台軟式野球親善国際大会に全日本大学軟式野球チームの代表として及川善史さん(体育学科3年)が選出されました。本学軟式野球部から代表選出は初めてのことで、今回の代表選考では各連盟に推薦枠を与えるのではなく、試合の指揮をとる監督・コーチが実際

にプレーを観てメンバーを集めたそうです。そのため、今回選抜された意味合いは大きく、及川さんも「自分のプレーが認められたことが素直に嬉しいです」と話しています。

及川さんは利府高校(宮城県)出身。高校では11番・中堅守として1年生の秋からレギュラーに定着して甲子園出場を夢見て汗を流しました。

「軟式野球のボールは弾むので、ボールをたたき付ければ足に自信を持つ自分にとっては有利」と、大学では硬式野球から軟式野球に転向。昨年秋から1年間は主将としてチームを牽引しました。及川さんは身長155cmと小柄ですが、「野球をするうえで不利な点は何もありません。ストライクゾーンが狭くなるので相手投手は投げにくくなるし、小回りがきくので守備もスムーズに処理できます。有利な点しか見つかりません。」と話し、今回の代表選出についても、「自分のセールスポイントは足なので走塁や守備範囲の広さを見て欲しい。」と話しています。

杜の都全日本大学女子駅伝に

10月25日(日)に第27回杜の都全日本大学女子駅伝が開催され、東北学連選抜チーム代表として本学陸上競技部の志賀愛香さんと東川陽子さん(共に体育学科3年)が出場しました。東北学連選抜チームの総合タイムは2時間21分08秒で、志賀さんは2区(6.6km)を24分03秒、東川さんは5区(4.0km)を14分39秒で杜の都路を駆け抜けました。

東川陽子さん、志賀愛香さん

昨年よりも速いタイムを出しましたが、全体のレベルが上がっているため順位は昨年よりも悪くなってしまい、全国の地区の代表との差はまだ大きいと感じました。

来年度の新入生にはスピードのある選手が入学予定なので、学年を超えて互いに刺激しあい、チームでモチベーションをあげ、来年は仙台大学チームとして出場できるように頑張りたいです。



写真は志賀愛香さん

東京在住のボートファンから漕艇部宛のお手紙

東京在住のボートファン(無記名)の方から漕艇部宛にお手紙と今年のインカレの写真が届きました。文面から察するところ、差出人の方は男子エイトに特に関心が高いようで、強豪チームの中でも仙台大学へ大きな期待をかけて下さっているようです。漕艇部の阿部監督は「たいへん勇気付けられる。差出人は大会に足繁く通っているあの方でしょうね。」と、だいたいの察しがついているようです。

漕艇部は創部以来多くの方々に応援していただいております。これまでも何度か大会の様子を頂戴しているそうです。また、ここ柴田町でも練習中に「がんばって」と手を振りながら応援してくれる町民の方々が多く、部員の励みになっています。

このお手紙と写真は漕艇部の寮に飾られています。



<手紙の内容の一部>

来年の8月のインカレまでに男子エイト種目で5分50~55秒をコンスタントに出せる実力をつけてもらい、9月の全日本選手権でファイナルに進んで、全国のボートファンを熱狂・感涙させてください。

第14回 新体操演技発表会を11月29日に開催

年に1度、仙台大学ジュニア新体操教室に通うこども達(約100名)の演技を保護者に発表する「新体操演技発表会」を11月29日(日)に開催いたします。一般の方も観覧できますので、どうぞ足をお運び下さい。発表会には幼児から小学校6年生で構成する「ジュニア新体操教室」のこども達の他、競技会に出場する小中学生で構成の「仙台大R G J」、仙台大学新体操競技部、仙台大学男子新体操同好会が参加します。

全日本インカレ第3位の仙台大学団体チームや賛助出演にて全日本クラブ団体選手権第3位のチームとトップレベルの演技も披露されます。今回は夢と希望に満ちた「輝き」をテーマに発表会を開催いたします。ジュニア達の可愛い演技が楽しみです。

